

(2) 患者診断情報一覧

病棟別患者数推移と患者診断情報一覧

検査情報検索 データ数: 5

日付	病棟	病室	患者ID	発熱(°C)	下痢	発疹	IVH	手術	バルーン	カテーテル	ドレ
20001101	015.2-7W	2702	7718471	38.7	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
20001101	015.2-7W	2705	0624900	37.4	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
20001101	015.2-7W	2706	7775776	37	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
20001101	015.2-7W	2708	7851499	37	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
20001101	015.2-7W	2712	1977547	37.2	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

検索した患者診断情報の一覧表示ウィンドウです。

1 細菌検査結果の検索

表示中のデータから特定の患者を1人選択します。

	日付	病棟	病室	患者ID	発熱(°C)	下痢
*	20001101	015.2-7W	2705	0624900	37.4	なし

選択するとその行が紫色に変わります。

「検査情報検索」ボタンをクリックします。日付指定ウィンドウが表示されるので、範囲を指定して「OK」ボタンをクリックします。

細菌検査データ検索の日付指定

日付: 2000年 11月 01日 ~ 2001年 03月 01日 日付クリア

OK

キャンセル

「OK」ボタンをクリックすると指定した範囲で細菌検査結果を検索します。
 「キャンセル」ボタンをクリックすると患者診断情報の一覧表示ウィンドウに戻ります。

2 ボタンの説明

- (1) 検査情報検索ボタン
特定の患者について細菌検査結果を検索します。
- (2) 戻るボタン
グラフ表示ウィンドウに戻ります。

(3) 細菌検査結果情報一覧

No	受付日	病棟	病室	診療科	感染症	基礎疾患	検査材料	分離菌名	薬剤1
1	20001114	2-7W		整形外科	その他の感染		非開放性膿	S.aureus(MRS ABPC	>16
2	20001115	2-6W		2内			喀出痰	C.albicans	
3	20001120	2-7W		整形外科	その他の感染		その他	Corynebacter	
4	20001121	2-7W					皮膚	Corynebacter	
5	20001127	2-7W		2内			その他	E.faecalis ABPC	2.0
								Corynebacter ABPC	>16

特定患者の細菌検査結果情報の一覧表示ウィンドウです。

1 ボタンの説明

(1) 範囲指定

細菌検査データ検索の日付指定	
日付: 2000年 11月 01日 ~ 2001年 03月 01日 日付クリア	OK
	キャンセル

検索する日付範囲の再指定を行えます。

「OK」ボタンをクリックすると指定した範囲で細菌検査結果を検索します。

「キャンセル」ボタンをクリックすると細菌検査結果情報の一覧表示ウィンドウに戻ります。

(2) 戻るボタン

患者診断情報の一覧表示ウィンドウに戻ります。

6. 5. 5 分離菌検出患者数推移—条件設定

一定の期間内において、ある特定の病室または1病棟全体で患者ごとの分離菌が検出された患者数を検索し集計する条件を設定するウィンドウです。下痢・発疹などの抽出条件は「環境設定—基本条件設定」で設定した診断項目が表示されます。

1 基本条件の設定

(1) 日付の範囲入力

日付の範囲を西暦で年4桁、月2桁、日2桁で入力します。範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されていますが、現在日より前の日付であれば書き換えることも可能です。日付を書き換える場合は、「Back space」キーで入力済みの日付を消してから書き換えて下さい。

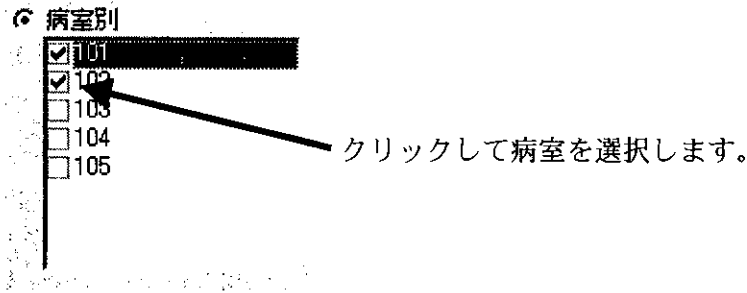
① 日付クリアボタン

「日付クリア」をクリックすると入力中の日付がクリアになり、範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されます。

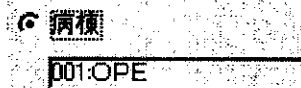
(2) 病室・病棟の選択

「病室別」、「病棟」いずれかを選択します。

「病室別」をの場合には病室リストから集計する病室を選択します。



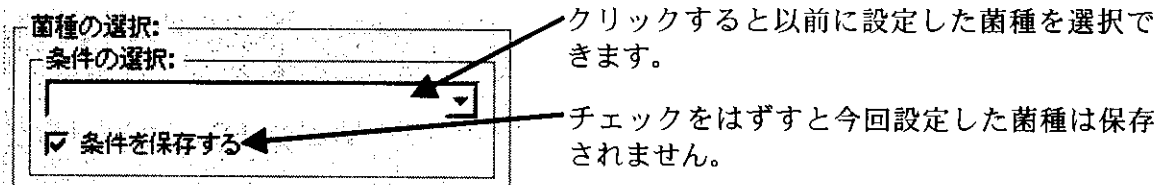
「病棟」を選択すると下記のようにになります。



「病棟」は「環境設定—基本情報設定」で選択した病棟が検索・集計の対象になります。

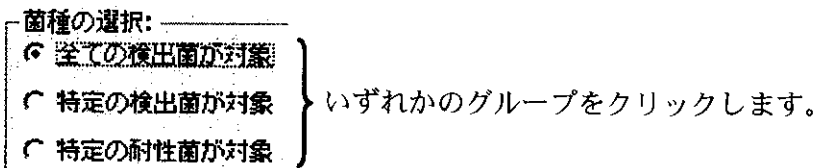
(3) 菌種の選択

①条件の選択

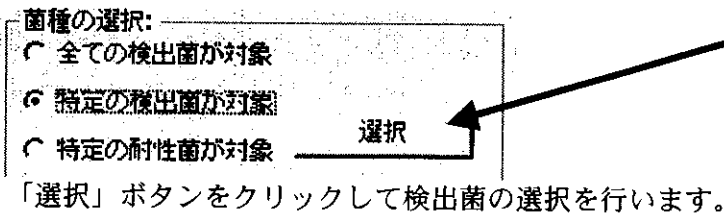


②対象グループ選択

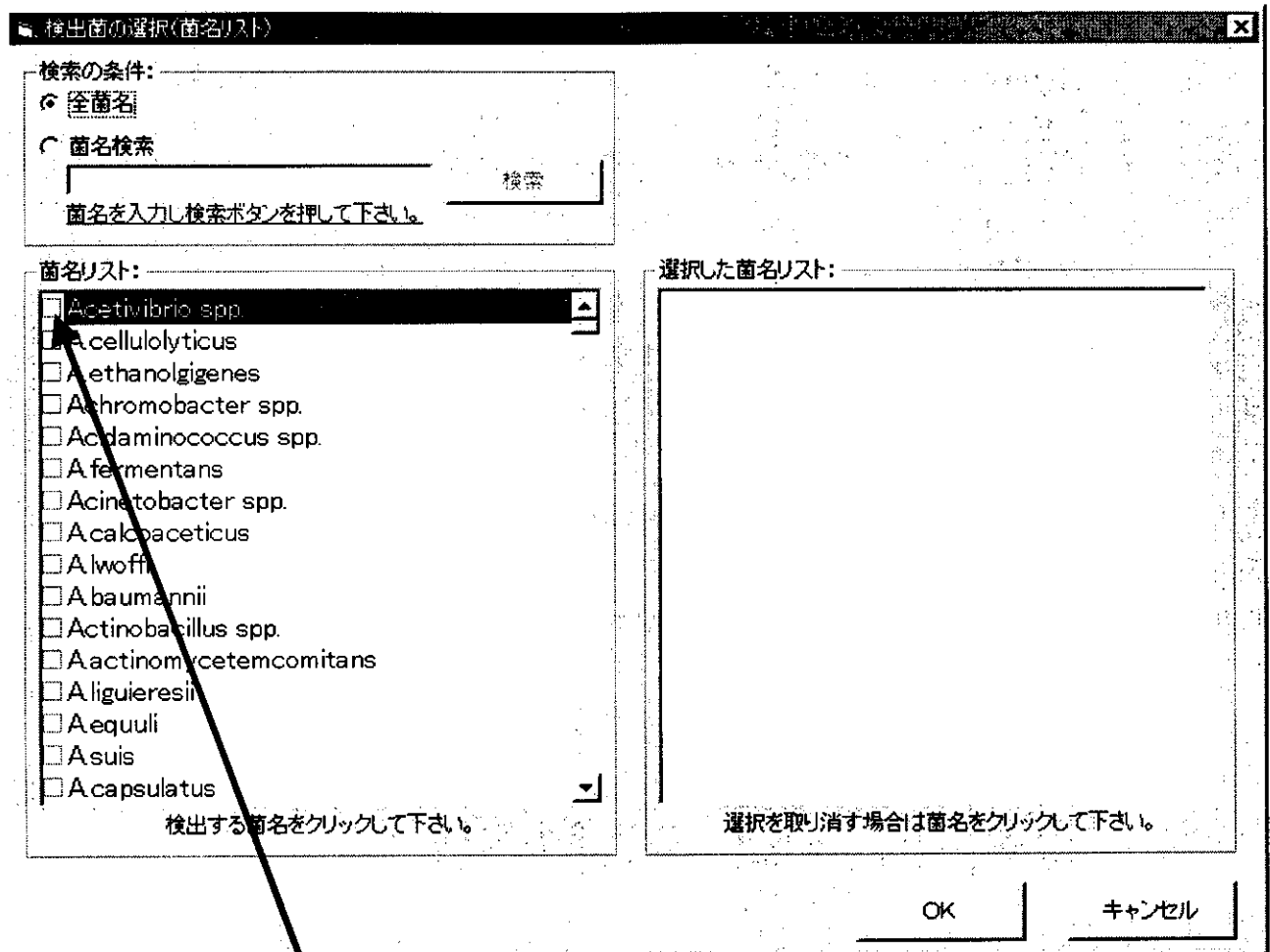
検索する菌種の対象グループを1つ選択します。



“特定の検出菌が対象”、“特定の耐性菌が対象”どちらかを選択すると「選択」ボタンが表示されます。



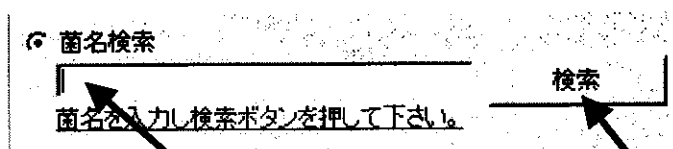
- ③選択ボタン（“特定の検出菌が対象”の場合）
 「検出菌の選択（菌名リスト）」ウィンドウが表示されます。



クリックします。一度に複数の菌名を選択することが可能です。
 クリックした菌名は「選択した菌名リスト」に表示されます。

[検索条件について]

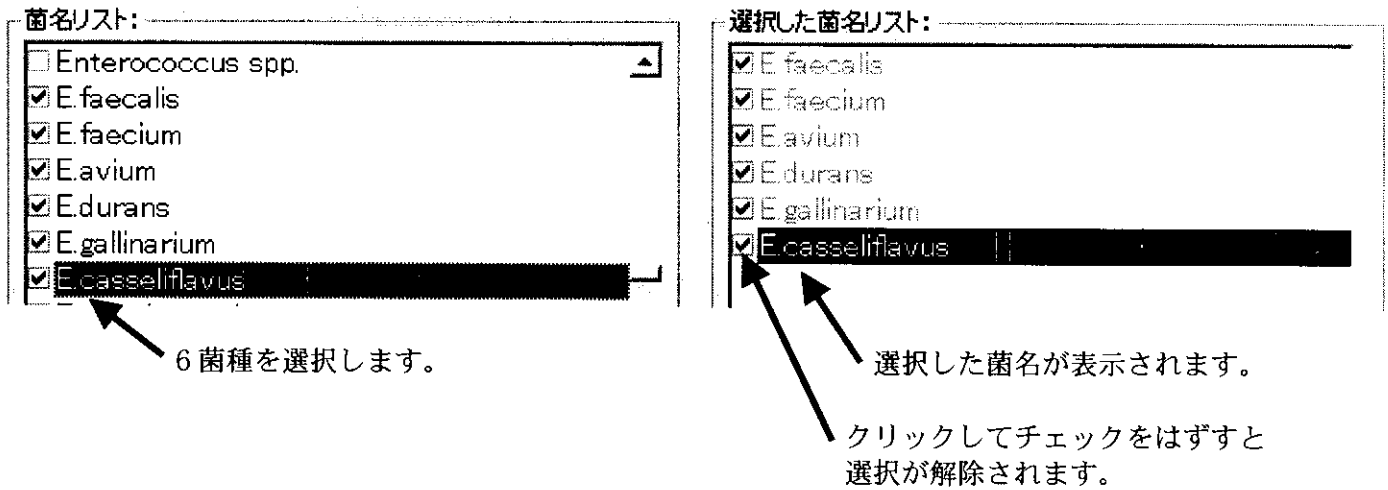
- ・全菌種
データベースに登録されている全菌名がリスト表示されます。
- ・菌名検索
検索語を入力し「検索ボタン」をクリックすると、該当する菌名のみを検索しリスト表示します。



検索語を入力します。

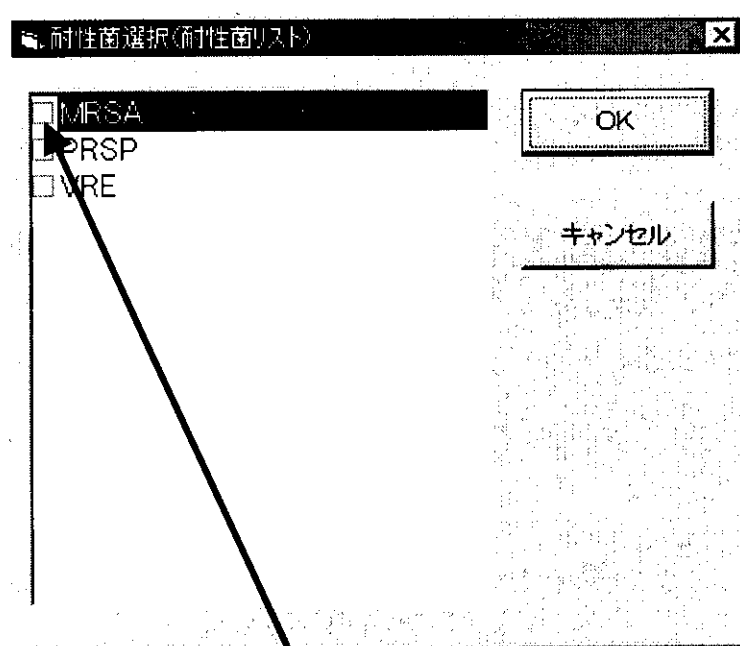
検索ボタンをクリックします。

[選択した菌名リスト]
菌名を選択すると下記ようになります。



20 菌種まで選択が可能です。
選択後「OK」ボタンをクリックします。ウィンドウはクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻り、「選択した菌種リスト」に菌名が表示されます。
「キャンセル」ボタンをクリックするとウィンドウがクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻るだけです。

- ④ 選択ボタン（“特定の耐性菌が対象”の場合）
「耐性菌選択（耐性菌リスト）」ウィンドウが表示されます。



クリックします。一度に複数の耐性菌を選択することが可能です。

20菌種まで選択が可能です。

選択後「OK」ボタンをクリックします。ウィンドウはクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻り、「選択した菌種リスト」に耐性菌が表示されます。

「キャンセル」ボタンをクリックするとウィンドウがクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻るだけです。

- ⑤ 選択した菌種のリスト

選択した菌種（「特定の検出菌」または「特定の耐性菌」）がリスト表示されます。

選択した菌種のリスト:



チェックをはずすと検索の対象外になります。

2 抽出の条件

(1) 条件の選択

条件の選択:

条件を保存する

クリックすると以前に設定した条件を選択できます。

チェックをはずすと今回設定した条件は保存されません。

(2) 条件の設定

①発熱・CRP・WBCの条件

発熱・CRP・WBCの左にある「」をクリックし、右にあるボックスに条件とする値を入力します。チェックをはずすと、条件とする値もクリアされます。
“37℃”以上の熱がある患者を集計する場合は下記のように入力します。

発熱 \geq 37

クリックします。 条件とする値“37”を入力します。

②下痢・発疹の条件

下痢・発疹の左にある「」をクリックします。
下痢の診断がある患者を集計する場合は下記のように入力します。

下痢

クリックします。

3 材料グループの選択

条件で材料グループを選択できます。

例えば血液検体からの分離菌について集計する場合は、リストの“血液”をクリックします。

材料グループリスト:

- 1: 腔・気道・呼吸器
- 2: 泌尿器・生殖器
- 3: 血液
- 4: 穿刺液
- 5: 消化器
- 6: 膿・分泌液
- 7: その他

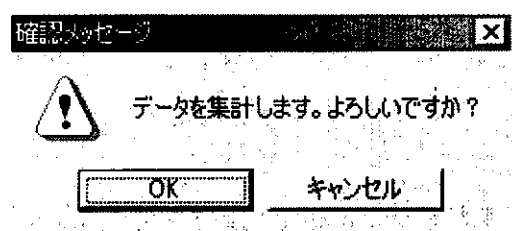
クリックします。

4 ボタンの説明

(1) グラフボタン

基本条件と抽出条件の入力がされていれば確認メッセージ表示後、検索・集計し結果を「グラフ表示ウィンドウ」に表示します。

[確認メッセージ]



「OK」ボタンをクリックすると検索・集計をします。

「キャンセル」ボタンをクリックすると条件設定ウィンドウに戻ります。

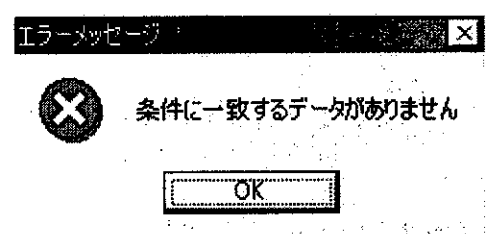
[集計中のメッセージ]

集計中はウィンドウの下に下記のメッセージが表示されます。



[一致するデータがない場合のエラーメッセージ]

検索・集計するデータがない場合は下記のエラーメッセージが表示されます。

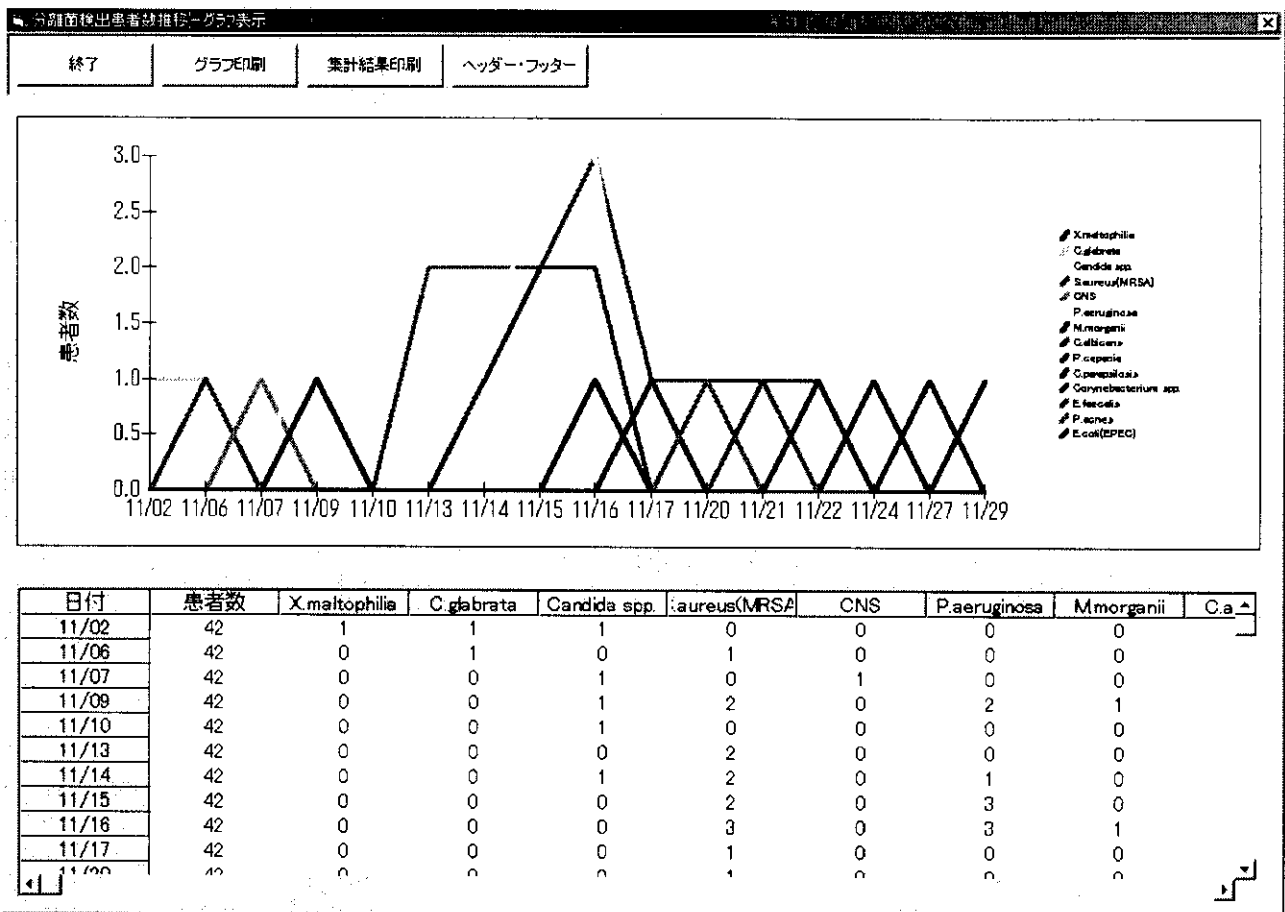


「OK」ボタンをクリックし条件設定をなおして下さい。

(2) 終了ボタン

メインメニューに戻ります。

6. 5. 6 分離菌検出患者数推移グラフ表示



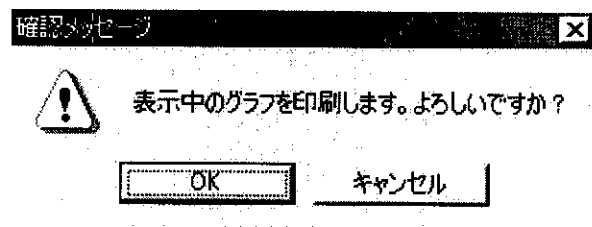
一定期間内に特定の病室または病棟ごとに分離菌が検出された患者数を検索・集計しその結果を集計表とグラフで表すウィンドウです。

1 ボタンの説明

(1) 終了ボタン

条件設定ウィンドウに戻ります。

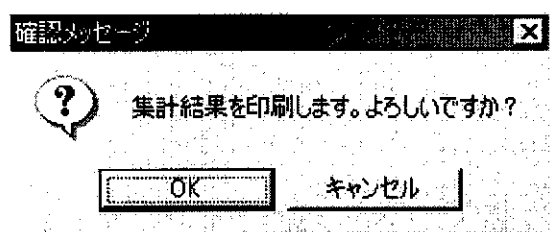
(2) グラフ印刷ボタン



「OK」ボタンをクリックすると表示中のグラフを印刷します。

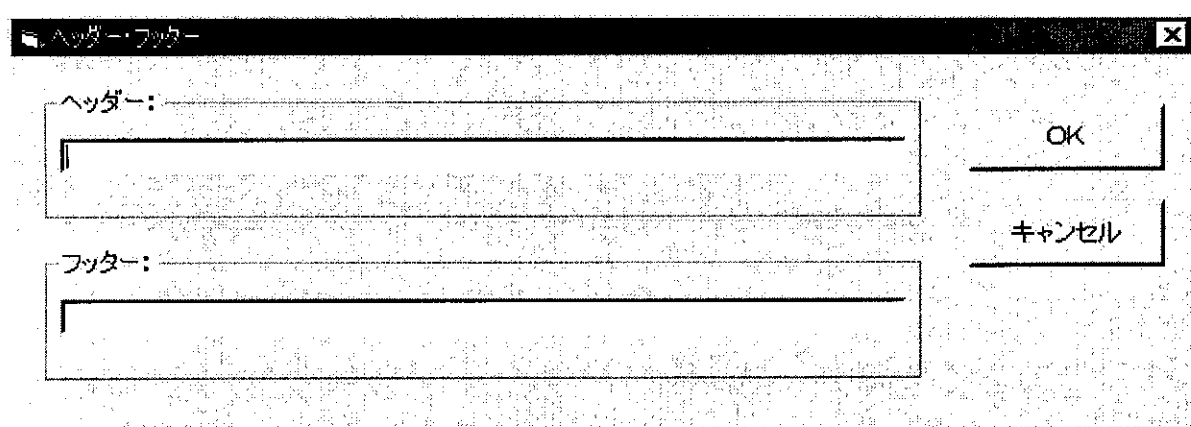
「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

(3) 集計結果印刷ボタン



「OK」ボタンをクリックすると集計結果を印刷します。
「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

(4) ヘッダー・フッターボタン



ヘッダー・フッターを半角60文字（全角で30文字）以内で入力します。

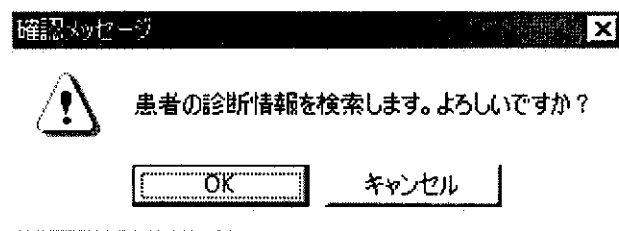
「OK」ボタンをクリックすると入力したヘッダー・フッターをグラフに表示します。
「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

2 患者情報・細菌検査結果の検索・一覧表示

(1) 患者の診断情報検索

日付	患者数	X.maltophilia
11/02	42	1 ← クリックする
11/06	42	0
11/07	42	0
11/09	42	0
11/10	42	0

集計表の数値を表示しているセル（日付、患者数のセルは除く）をクリックすると確認メッセージが表示されます。



「OK」ボタンをクリックすると患者の診断情報を検索し一覧表示します。
「キャンセル」ボタンをクリックするとグラフ表示ウィンドウに戻ります。

(2) 患者診断情報一覧

日付	病棟	病室	患者ID	発熱(°C)	下痢	発疹	IVH	手術	バルーン	カテーテル	ドレ
20001116	015-2-7W	2703	6312071	37.2	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
20001116	015-2-7W	2703	5910552	37.2	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

検索した患者診断情報の一覧表示ウィンドウです。

- 1 細菌検査結果の検索
表示中のデータから特定の患者を1人選択します。

	日付	病棟	病室	患者ID	発熱(°C)	下痢
*	20001101	015-2-7W	2705	0624000	37.1	なし

選択するとその行が紫色に変わります。

「検査情報検索」ボタンをクリックします。日付指定ウィンドウが表示されるので、範囲を指定して「OK」ボタンをクリックします。

細菌検査データ検索の日付指定	
日付: 2000年 11月 01日 ~ 2001年 03月 01日 日付クリア	OK
	キャンセル

「OK」ボタンをクリックすると指定した範囲で細菌検査結果を検索します。
「キャンセル」ボタンをクリックすると患者診断情報の一覧表示ウィンドウに戻ります。

2 ボタンの説明

(1) 検査情報検索ボタン

特定の患者について細菌検査結果を検索します。

(2) 戻るボタン

グラフ表示ウィンドウに戻ります。

(3) 細菌検査結果情報一覧

No	受付日	病棟	病室	診療科	感染症	基礎疾患	検査材料	分離菌名	薬剤	
1	20001109	2-7W		整形外科		脳梗塞	喀出痰	M.morganii	PIPC	≦1
2	20001116	2-7W		整形外科		脳梗塞	喀出痰	M.morganii	PIPC	≦1
2								S.aureus(MRS	ABPC	16
3	20001117	2-7W		整形外科	上気道感染症		喀出痰	S.aureus(MRS		
3								P.cepacia	PIPC	80
4	20001121	2-7W		整形外科	慢性下気道感	脳梗塞	喀出痰	P.cepacia		
4								S.aureus(MRS		
5	20001122	2-7W		整形外科	上気道感染症		気管チューブ	P.cepacia		
5								S.aureus(MRS		

特定患者の細菌検査結果情報の一覧表示ウィンドウです。

1 ボタンの説明

(1) 範囲指定

細菌検査データ検索の日付指定	
日付: 2000年 11月 01日 ~ 2001年 03月 01日	日付クリア
OK	キャンセル

検索する日付範囲の再指定を行えます。

「OK」ボタンをクリックすると指定した範囲で細菌検査結果を検索します。

「キャンセル」ボタンをクリックすると細菌検査結果情報の一覧表示ウィンドウに戻ります。

(2) 戻るボタン

患者診断情報の一覧表示ウィンドウに戻ります。

6. 6 分離菌検出状況

6. 6. 1 病室別分離菌検出状況－条件設定

一定の期間内において、ある特定の病室または1病棟全体で患者ごとの分離菌検出状況を検索し集計する条件を設定するウィンドウです。下痢・発疹などの抽出条件は「環境設定－基本条件設定」で設定した診断項目が表示されます。

1 基本条件の設定

(1) 日付の範囲入力

日付の範囲を西暦で年4桁、月2桁、日2桁で入力します。範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されていますが、現在日より前の日付であれば書き換えることも可能です。日付を書き換える場合は、「Back space」キーで入力済みの日付を消してから書き換えて下さい。

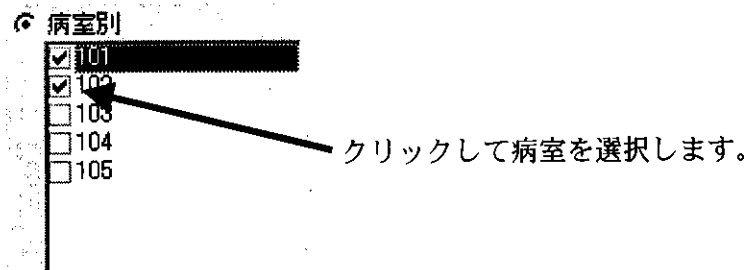
①日付クリアボタン

「日付クリア」をクリックすると入力中の日付がクリアになり、範囲の終了日付は現在日が自動的に表示されます。

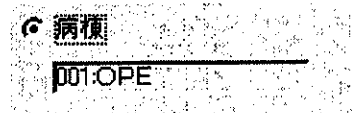
(2) 病室・病棟の選択

「病室別」、「病棟」いずれかを選択します。

「病室別」をの場合は病室リストから集計する病室を選択します。



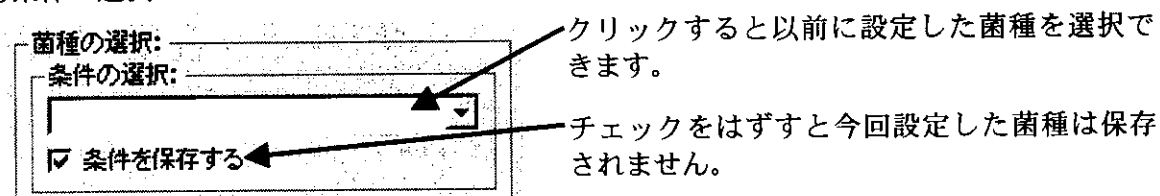
「病棟」を選択すると下記のようにになります。



「病棟」は「環境設定—基本情報設定」で選択した病棟が検索・集計の対象になります。

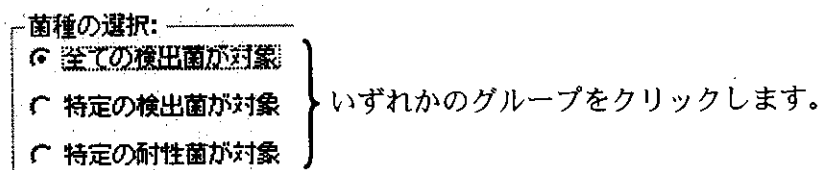
(3) 菌種の選択

①条件の選択

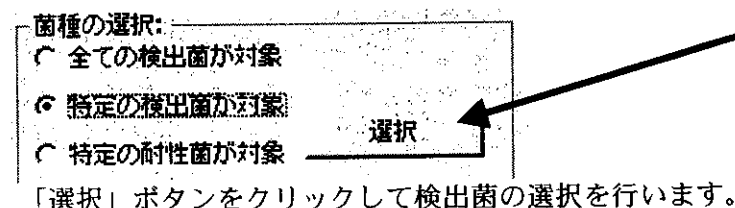


②対象グループ選択

検索する菌種の対象グループを1つ選択します。

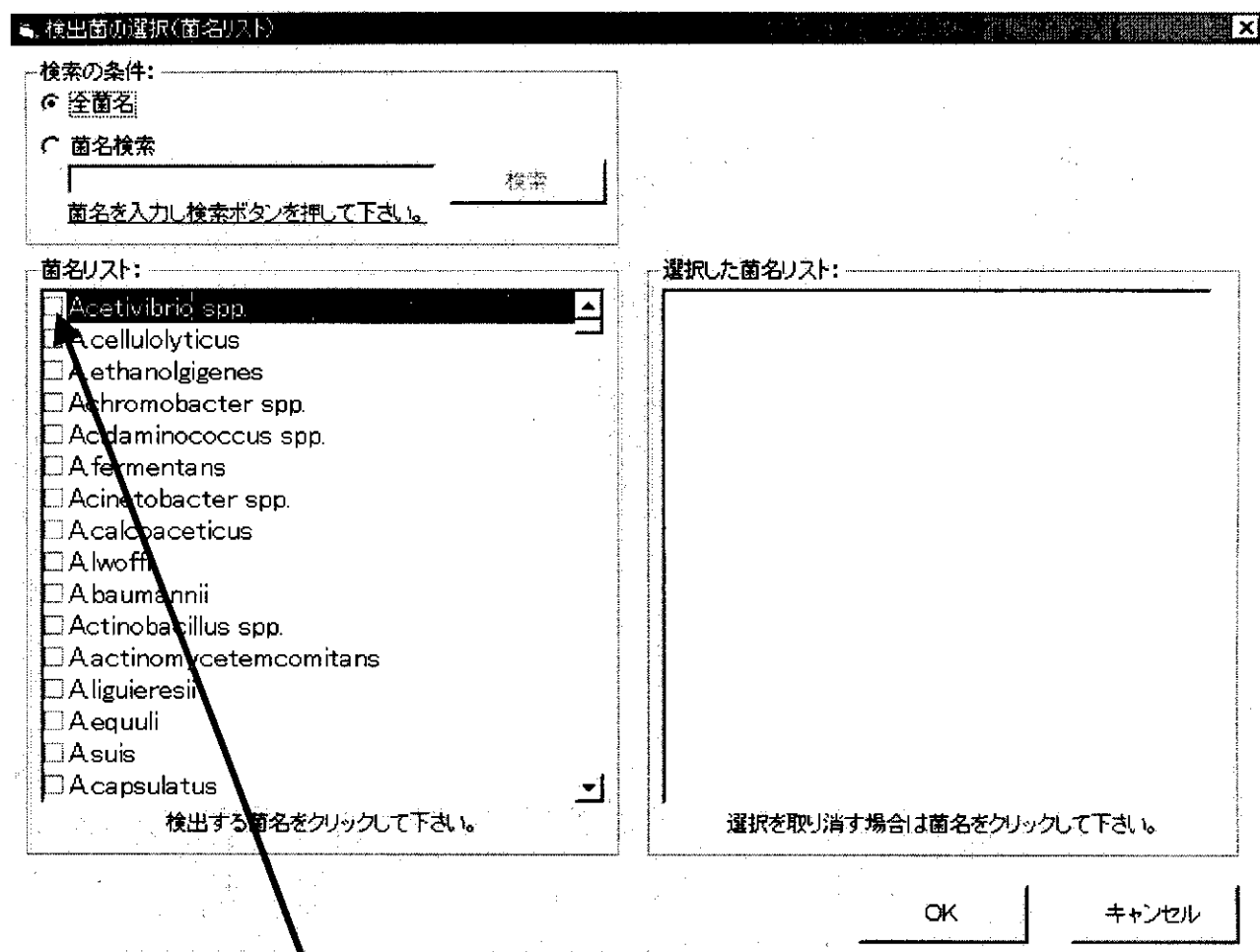


“特定の検出菌が対象”、“特定の耐性菌が対象”どちらかを選択すると「選択」ボタンが表示されます。



③ 選択ボタン (“特定の検出菌が対象” の場合)

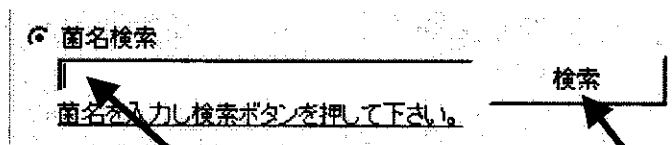
「検出菌の選択 (菌名リスト)」ウィンドウが表示されます。



クリックします。一度に複数の菌名を選択することが可能です。
クリックした菌名は「選択した菌名リスト」に表示されます。

[検索条件について]

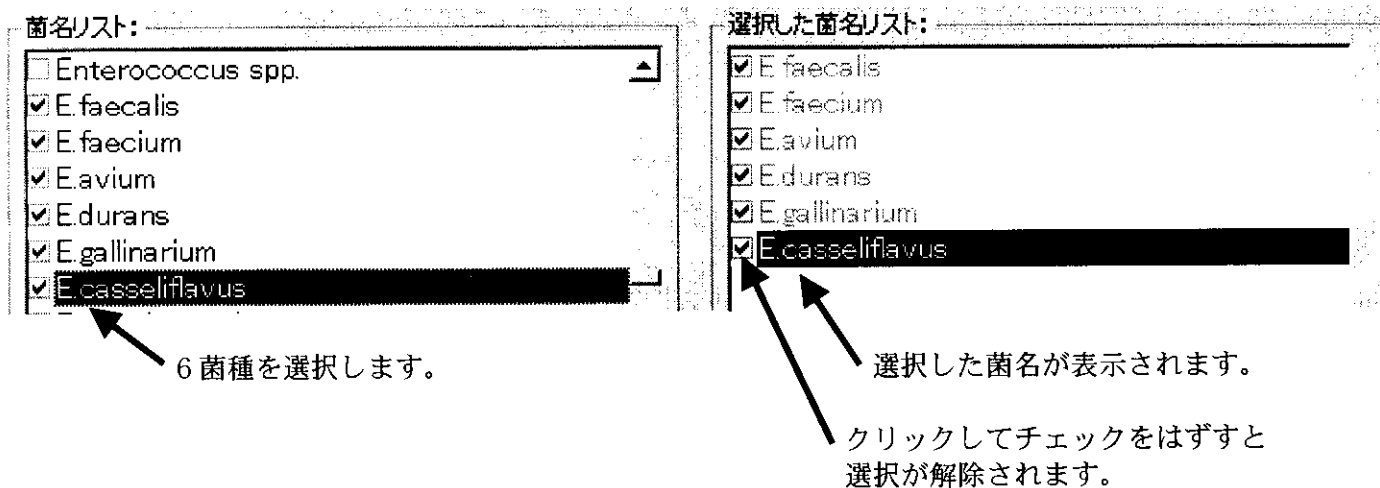
- ・ 全菌種
データベースに登録されている全菌名がリスト表示されます。
- ・ 菌名検索
検索語を入力し「検索ボタン」をクリックすると、該当する菌名のみを検索しリスト表示します。



検索語を入力します。

検索ボタンをクリックします。

[選択した菌名リスト]
菌名を選択すると下記ようになります。



20 菌種まで選択が可能です。

選択後「OK」ボタンをクリックします。ウィンドウはクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻り、「選択した菌種リスト」に菌名が表示されます。

「キャンセル」ボタンをクリックするとウィンドウがクローズされ「条件設定」ウィンドウに戻るだけです。